

<1> 思い出した!? 「三枝さん」 2025.7.17.

最近、丹波篠山の実家の固定電話の調子が悪く、プーと鳴っているだけで通話ができない。これはいかんと、電話機を買った電器屋さんに参上、事情を話すと「今スタッフがいないので、帰りましたらすぐ参ります」「で、何時ごろに来てくださいますか」と問えば、「わかりましたら電話します」「…?? いやその電話機が調子悪いんです」「いや携帯の方に」「あの一私、携帯使わないんです」「エー！」。



まるで旧石器時代の人間を見るようなまなざし。少々あまのじゃくな私はスマホを持たない。情報過多の時代、いらぬ情報に振り回されたくない、SNSなんぞに時間を取られたくない等々の思いで、今日まで使わずに来た。「じゃあ この時間なら家におりますのでよろしく」と伝え、家で待っていると、親切な電器屋さん、こちらに合わせて来てくださり、調べた結果、電話機は大丈夫、どうやら電話線の回路の問題だろうとわかり、後日、NTTの方に来てもらえることとなった。当日、待っていると高所作業車を運転して専門の工事の方が来られ、いきなり「あっ、エー！わあ…落語の…」と私の名前が出てこない。スマホで調べたかったのだろうが、仕事優先。2時間かけて電話が通じるようになった。作業車が道路に止まっているので赤い旗を持った誘導員さんがいたが、2時間の間1台も車が通らなかった。何というのどかさ。そして工事をしていただいたオジサンに帰り際「お世話になりました」と言うと車のウインドーを下げて満面の笑みで「ありがとう三枝さん」とおっしゃった。これホントの話。静かなのどかな実家の庭で私、コケタ！オジサンはあの時スマホで調べたかったんだろうけど仕事優先で作業している間に思い出されたんだろう、たまたま答えが違っただけだ。

落語「物忘れ」では、今日は会社から早く帰って何かをしようと思っていたが思い出せない。食事しながら…うーん、思い出せない。よし、風呂に入って思い出そう…うーん思い出せない。まあいいか、今日はもう寝よう！アッ！そうだ、今日は早く帰って寝ようと思っていた！と、のどかなもの。

次の日曜は参院選。忘れず行くぞ！私はSNSは「知らんけどニュースらしいで 知らんけど」ぐらいに思っている。桂文珍さん（かつら・ぶんちん＝落語家）

オオ!! 文珍さんも関西人 やっぱりうわさ話の SNS には「知らんけど!!」が出た。

また、知人の名前が思い出せないのは しょっちゅうです。

「ええ……と」と考え込むと「****やがな」と。「そやった そやった」と

「今此処へ 何を取りに来たのかなあ…」と思うことも

また、後日談になるが、この参議院選 SNS 登場の異常な選挙戦の中での SNS 世代の若者たちの選択誰がこんな結果になると予想しただろうか…

でも とにかくにも時代が変わる よう 知らんけどな…と。 Mutsu Nakanishi

文 化

2025年(令和7年)
8月21日
木曜日
神戸新聞社
〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7
www.kobe-np.co.jp

神戸新聞

落語的見聞録

文珍



AIが、苦手な世界ハ：

残暑、いや酷暑がいつまでも両首脳が記者会見をするで続くとやら。何かしら5月の末からずーっと8月8月8月8月、そして10月になるのではないかとと思う(「AI」だったらどんなコような日々、丹波市は7月の末に41.2度といううな気温となり、日本中にニュースで報じられたものから「師匠、日本」、おめは丹波篠山市が実家で...と説明するのも面倒で放っておいたら、3日ほど後、群馬県伊勢崎市でもと気温が高くなり、その友人が「さすが丹波の国は貴明、智光秀公が治めていた故、気温も巨大下でしたな」と笑っていた。

その後、お越、終戦記念日、わずかな日を実家にて過ごしていた。テレビではトランプ氏とプーチン氏がアラスカで中身の無い等しい会談をしていた。それでも会談は美りがあった

落語には、物知りで世話好きの甚兵衛さんが登場する。が、このごろAIの登場で誰も相談や質問に来なくなった。AIが即座に答えてくれるからだ。

「いやいや、でもない。この座敷に上がらない。すると対話型のAI」指摘ありがどう思います。データに入れておきます。間違いを心から反省いたしましうとさまさまなことを学ぼうとするが失敗続き。AI、姿を消す時、甚兵衛さんの「授業料は？」に「ワレワレニ感情ハアリマセン」と、ギャグ、ユーモアまみれ。落語はAIが苦手な世界です。

（かつら・ぶんちゃん）落語

次回9月18日

今回は今はやりの「AI」 スマホやPCにもインストールされていて

言葉は知っているが、中身はよく知らない。

それでも パソコンの google 検索に問いかける調子で PC にある AI に問いかけてみる。

「ふむふむふむ」という答えが返ってくることもあれば、笑うこともある。

最近は就職の面接の書面づくりに使う学生根多いと聞く。おいおいと。

とにかくまだ、AIは魔物。中身は不明。だから文珍さん 真意はわからねど まだ信用するのは禁物か…
しっかり、使うのは自分やとまだまだ意識しておかねば…

そういえば、TVの画面で、故人のメタバースとのAI会話の記録映像が映し出されていた。

是非はともかく、「もう、時代はここまで来たのか…」と。文珍さんの話に爆笑するもよし。

また、深刻に考えるのもよし。そんな時代になったのですね。 From Kobe Mutsu Nakanishi